

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

[特集] 首都圏での展示会出展で販路開拓
～全国発信への手がかりを掴む～



Vol. 36

展示会紹介 2 スーパーマーケット・トレードショー2019



今年2月13日(水)から15日(金)までの3日間、千葉県幕張メッセで開催されたスーパーマーケット・トレードショー2019(以下SMTS)。全国のスーパーマーケットを中心とした小売業をはじめ、卸・商社、中食、外食、海外など多数のバイヤーらが来場する国内最大級の展示商談会です。3日間で延べ88,412名の来場者で賑わった中、福井県ブースでもたくさんの商談が取り交わされました。

福井県ブースには、ふくい産業支援センターが出展を支援する「ふくいの食品戦略的販路開拓支援事業」を活用した20社を含め、28の企業・団体が共同で出展し、全国のバイヤーに向けその魅力を発信しました。去年はふくい産業支援センターの支援事業活用企業6社を含めた16の企業が出展。次回のSMTS2020は、2020年2月12日(水)～14日(金)に幕張メッセ全館(イベントホール含む)で開催予定。現在、ふくい産業支援センターでは、「ふくいの食品戦略的販路開拓支援事業」を活用して福井県ブースに共同出展を希望する事業者を募集しております。申し込み締め切りは6月7日(金)まで。

※出展をご検討の方は下記までご相談ください。

お問い合わせ先：(公財)ふくい産業支援センター
販路・資金支援部 販路開拓営業グループ (0776-67-7407)

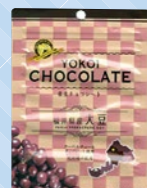
次回出展
受付中!

スーパーマーケット・トレードショー2019

ふくい産業支援センターを通して出展した企業例



株式会社
クロワッサン入り
プリン



横井チョコレート株式会社
大豆チョコレート



新珠製菓株式会社
絹小町
「羽二重生サブレ」



株式会社 高橋製粉所
たかはしの打豆



株式会社 武生製麺
自社栽培そば使用
越前そば



株式会社 北前船のカワモト
黄金のだし

特集

首都圏での展示会出展で販路開拓

～全国発信への手がかりを掴む～

福井の特産品を活かした食品や、技術・地域資源を利用した商品など、県内企業は魅力あふれる数々のものを生み出しています。しかし、良い商品ができあがり、生産体制も整ったその先の販路開拓を課題としている県内企業も少なくないのではないでしょうか。今回の特集では、販路拡大の重要な切り口として「展示会出展」についてフォーカスします。

福井県の企業が出展した展示会をご紹介します、実際に出展された企業3社(食品製造業1社、ものづくり企業2社)にインタビューをしました。ぜひ貴社の首都圏への販路拡大や、それに向けたモチベーションアップにお役立てください。



展示会紹介 1 ふくいフードPremium発掘商談会

昨年11月8日(木)に福井県国際交流会館で開催されたふくいフードPremium発掘商談会(以下発掘商談会)。当センター主催の、地方のこだわり食品や食材を数多く取り扱うスーパー、百貨店、専門店、通販会社等のバイヤーを福井県内に招聘し、県内事業者との商談機会を創出する商談会です。参加バイヤー15社、県内事業者50社が発掘商談会に集まりました。

実に174件の商談が取り交わされ、そのうち取引の可能性が高い商談も95件に及びました。次回開催の発掘商談会は2020年11月12日(火)に開催予定。※出展をご検討の方は下記までご相談ください。

お問い合わせ先：(公財)ふくい産業支援センター
販路・資金支援部 販路開拓営業グループ (0776-67-7407)

出展企業
募集中!



ふくいフードPremium発掘商談会

参加した企業例



南杉本清味堂
羽二重かき餅



株式会社 屋酢店
壺之酢



株式会社 宗近
越前なまそば



株式会社 五月ヶ瀬
五月ヶ瀬



SFV生産農場
みんなのアイス

Contents

- 1 首都圏での展示会出展で販路開拓
～全国発信への手がかりを掴む～
 - ふくいフードPremium発掘商談会
 - スーパーマーケット・トレードショー2019
 - 【事例①】南杉村米菓
＜産地新ブランド創出・流通サポート事業＞
 - 【事例②】山次製紙所
 - 【事例③】スタイル・オブ・ジャパン(株)
- 11 今月の注目企業 (株)龍泉刃物
- 13 Start a New Project
 - Felice Rosa
 - 株式会社オープンボックスジャパン
- 14 こんにちは。FOIPです。
- 15 グッドデザインシンキング
- 16 新スポット巡礼
- 17 総合相談窓口紹介
- 18 「IT」教えて先生!
- 19 インフォメーション他



実際の展示会ブース。



にぎわう展示会の様子。

「地元福井の食材を使用した思いがあるが、全国から見ると福井・石川・富山で

は宿泊先のホテルに戻るとパソコンで名刺をリスト化し、会期後、30社以上にサンブルの商品を発送しました。出展した生にんにくせんべいには、意外な方面からも声がかかりました。「永平寺町上志比のにんにくを使いOEMで限定生産したもので、トレードショーで反響を見ようと思っただけなんです。にんにくの大規模生産地である青森県の団体から売り込みがあったんです。本当は上志比

幕張メッセで開かれた大規模な商談展示会『スーパーマーケット・トレードショー』で、今年、同社は福井県ブラス「食の国ふくい」に参加。初披露となる生にんにくせんべいや富山湾の白えびを練り込んだ大判の揚げせんべいなどの商品を出展し、バイヤーの注目を集めました。

「実は、日本の米菓は今、約70%が新潟県で大量生産されています。1県偏在化が進んでいます。バイヤーはそれ以外の地方のレアな商品を探求していて、職人が丁寧に手揚げした当社の商品は、そうしたニーズにマッチするんです」と語る吉村氏。

「北陸」というひとつのエリアとして捉えられている。今後、北陸新幹線が福井にくるまでに、北陸ブランドでの福井の位置付けをどうしていくか考えないといけないでしょう」と課題を語ります。

CASE 1 多彩な展示会に継続して出展し、全国的な販路やつながりを拡大

有限会社松村米菓

1946年の創業以来、塩せんべいや揚げせんべいなどの米菓一筋に職人の味を守り続けている有限会社松村米菓。昨年11月の『ふくいフードPremium発掘商談会』への出展で株式会社日本百貨店と、今年2月の『スーパーマーケット・トレードショー』で高級スーパーマーケット成城石井との取引を開始するなど、全国的に販路を拡大しています。出展までの経緯とその反響などを、会長の松村新二氏と取締役社長の吉村文雄氏に伺いました。



吉村文雄氏 松村新二氏

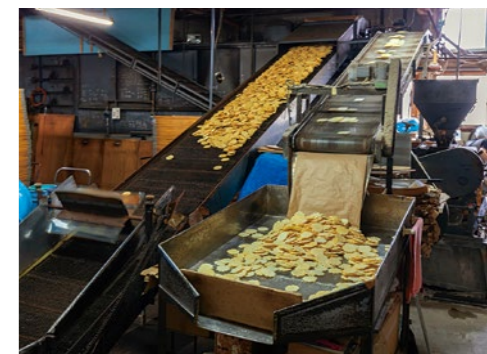
所在地:福井市町屋2-13-1
代表者:吉村文雄氏
事業内容:米菓の製造・販売
TEL 0776-22-3835

「質を求めるバイヤーに揚げせんべいがマッチ」
幕張メッセで開かれた大規模な商談展示会『スーパーマーケット・トレードショー』で、今年、同社は福井県ブラス「食の国ふくい」に参加。初披露となる生にんにくせんべいや富山湾の白えびを練り込んだ大判の揚げせんべいなどの商品を出展し、バイヤーの注目を集めました。

「実は、日本の米菓は今、約70%が新潟県で大量生産されています。1県偏在化が進んでいます。バイヤーはそれ以外の地方のレアな商品を探求していて、職人が丁寧に手揚げした当社の商品は、そうしたニーズにマッチするんです」と語る吉村氏。

「北陸」というひとつのエリアとして捉えられている。今後、北陸新幹線が福井にくるまでに、北陸ブランドでの福井の位置付けをどうしていくか考えないといけないでしょう」と課題を語ります。

国内の米菓メーカーは寡占化が進み、ここ10年で激減。県内では、現在わずか4社のみになりました。生き残りを図っていくなかで、「当社は、70年以上の歴史がある。米菓製造に必要な大型設備と職人の技は、先代から受け継いだ大きな財産ですね」と語る吉村氏。先代から家業を継ぎ50年にわたって製造の現場に立ち続ける松村氏は、「揚げせんべいづくりには人間のカンが介在し、数値化やマニュアル化ができない。小さなメーカーが生き残るには、そうしたテクニクやノウハウを継承して商品を作り続けていくことが大事でしょう」と表情を引き締めます。「これから存在感をアピールしていく必要があり、お客さまとの絆を切らないよう、商談会や展示会への出展は継続していきます」と、ふたりは顔を見合わせて頷きました。



なんとも香ばしい香りが広がります。

展示会紹介 4 福井市(ふくいいち)



前ページでご紹介した「大日本市」と同様、中川政七商店が直営店として展開する「日本市」店内の一部において、「経営とブランディング講座」の参加者等から選抜された事業者による企画展「福井市」を実施し、日本橋高島屋SCの顧客向けに商品のPR・マーケティングを実施しました。

昨年10月10日(水)から23日(火)までの14日間、国内でも屈指の売上げを誇る日本橋高島屋の中でも、最も集客力の高い立地である一階のメインエントランス前の店舗で開催されたこともあり、たくさんのお客様でにぎわいました。

顧客の反応をじかに感じ取ることができるため、自信を深めることができた出展者や商品の更なる改良に結びつける契機となった出展者もあり、商品企画をブラッシュアップする貴重な機会となりました。

ふくいいち 福井市 出展風景



展示会紹介 3 大日本市



ふくい産業支援センターデザイン振興部では、日本初の工芸をベースにした製造小売業態を確立した中川政七商店から講師を招き、同社のブランド戦略のノウハウを学べる6回連続のセミナー(経営とブランディング講座)を開催しました。ここでご紹介する展示会は中川政七商店が主催するバイヤー向けの展示商談会で、セミナー参加者から選抜された事業者に出展いただきました。

今年2月13日(水)から15日(金)までB&C HALL(東京都品川区)で開催された「大日本市」は、3日間で延べ2,162人が来場され、福井県の事業者のブースにもたくさんの来場者が立ち寄り、商談が取り交わされました。

会期中に出展した45ブランドを対象にした来場者による人気投票では、山次製紙所が1位、宗倉陶業・小柳タンス店・小大黒屋商店の福井合同ブースが3位と、全体の中でも高い支持を獲得し、今後の販路拡大にも期待が持てる成果となりました。

株式会社中川政七商店とは？

奈良晒の間屋業として1716年に創業。2002年に本格的に小売業に進出。当時業界初のSPA(製造販売小売)を確立し、2019年2月現在で全国55店舗を展開している。2007年から「日本の工芸を元気にする」というビジョンのもと、日本各地で「コンサルティング事業」や「教育事業」を実施している。

大日本市 出展風景

出展した県内の5ブランド



山次製紙所
人気投票
1位

今回の出展では受注も多数頂いており、反響は大きなものと感じています。1回目の成績と比べれば、2

これからの展示会像

「大日本市」出展のきっかけは、同社が製作した茶缶の話が中川政七商店にまで伝わったことです。中川政七商店の現会長である中川政七氏から同店主催の「大日本市」への出展依頼を頂けるほど印象はよかったです。中川政七氏からは「大日本市」には今回で3回目の出展になり、1回目の出展では当日受注が取れず悔しい想いをしました。その悔しさをバネに新製品の開発やプレゼン力を高めた結果、出展3回目では、受注獲得はもちろんですが、さらには出展企業の人気投票総合1位を獲得することができたといえます。



「大日本市」で商品の説明をする山下寛也氏。

るために参加を決めたと社員の山下寛也氏は動機を語ります。「大日本市」出展のきっかけは、同社が製作した茶缶の話が中川政七商店にまで伝わったことです。中川政七商店の現会長である中川政七氏から同店主催の「大日本市」への出展依頼を頂けるほど印象はよかったです。中川政七氏からは「大日本市」には今回で3回目の出展になり、1回目の出展では当日受注が取れず悔しい想いをしました。その悔しさをバネに新製品の開発やプレゼン力を高めた結果、出展3回目では、受注獲得はもちろんですが、さらには出展企業の人気投票総合1位を獲得することができたといえます。

回目・3回目と売り上げが着実に伸びていることから、出展による成果を実感しています。展示会は受注獲得やコネクションの構築など、売り上げを伸ばすために出展することはもちろんですが、同じく、工芸に携わる者が集結する、情報交換には最適な場所でもあると思います。伝統工芸の産地が成長するには、職人も共に成長していかなければならないと思っております。展示会は特に成長できる場所であると感じており、今後とも出展し続けたいと山下寛也氏はますます意欲を見せています。

CASE 2 工芸も、職人も、共に成長させる

山次製紙所

明治元年に創業し、主に美術小間紙を製造する山次製紙所。日本三大和紙の一つといわれる越前和紙を製造する同社は、今年2月に東京で開かれた工芸品の合同展示会『大日本市』に出展し、出展企業の人気投票で堂々の総合1位を獲得しました。そこに至るまでの経緯とその反響などを、代表の山下勝弘氏と社員の山下寛也氏に伺いました。



スタッフの皆さん

山次製紙所
https://yamatsugi-seishi.com/

所在地:越前市大滝町29-5
代表者:山下勝弘氏
事業内容:越前和紙製造
TEL 0778-42-0553



一日に数えきれないほどの和紙を漉きます。

山次製紙所の越前和紙が現代を生きる

同社は奉書紙等の無地物の手漉き和紙の製造からはじまり、版面に使うものからふすま紙に使われるような大きな和紙までさまざまな種類の和紙を手掛け、昭和初期頃からは「引っ掛け」「漉き合わせ」「流し込み」といった越前和紙固有の技法を用いた、酒瓶のラベル等に使われる模様小間紙の製造が主になりました。しかし、和紙ラベルを貼るようなお酒が市場にあまり出回らなくなったことによる和紙のラベルの需要減少、安価な印刷用紙の登場による不利な価格競争、そんな業界に生き残れず経営困難・業界縮小・後継者不足と伝統工芸ならではの課題を抱えているので、生き残るのに毎日全員で必死に働いていると山下勝弘氏は語ります。

そんな越前和紙に新たな可能性を与えるのが

「浮き紙」という技法です。近年開発された、型押し技法を用いて模様を浮き立たせる同社独自の技術で、開発当初は壁紙に使われていました。「浮き紙」にさらなる可能性を感じていた山下勝弘氏は、創業から代々受け継がれる技術と「浮き紙」の技術を融合し、「浮き紙」を使った新製品の開発に取り組みむこと5年。ついに茶缶を開発することに成功しました。同社に注目が集まる最中、2018年8月、茶缶が月刊誌「婦人画報」の表紙に掲載されました。



「浮き紙」を使った製品。

とブランディングを学びました。セミナーや展示会に参加するのはもとも「浮き紙」の素材を見せたいという想いからでしたが、それが自社を成長させた、さらには越前和紙を絶やしてはならないという想いから変わっていききました。そして越前和紙を絶やさないためには携わる人が成長していかなければならないことに気付き、セミナーには自分が先頭に立って成長す

CASE 3 日本、そして海外へ羽ばたく若狭塗箸

スタイル・オブ・ジャパン株式会社

産地の苦難が続く伝統工芸品の一つ、若狭塗箸。今では海外にも販路を拡大している、そんな若狭塗箸を商うのが、小浜市にある「スタイル・オブ・ジャパン株式会社」です。同社は今年2月に東京で開かれた『大日本市』と、ドイツ・フランクフルトで開かれた『アンビエンテ2019』に出展。感度の高い国内展示会と、世界最大級の海外展示会に出展し、輝かしい成果を残しています。これまでの経緯と反響などを、代表取締役の大森一生氏に伺いました。



代表取締役 大森一生氏

スタイル・オブ・ジャパン株式会社
http://www.soj-inc.jp/

所在地:福井県小浜市大手町7-4 Nビル3F
代表者:大森 一生氏
事業内容:若狭塗箸企画製造卸
TEL 0770-52-1835

若狭塗箸の産地問屋に生まれた大森氏は四代目にあたります。2003年頃、日本では堀江貴文氏(当時・ライブドア代表)を筆頭にベンチャーブームの最中であり、留学先のニューヨークで日本食ブームを目の当たりにしたことをきっかけに、家業である若狭塗箸を通じて日本文化を伝えようとして、23歳の若さで創業しました。創業してみると、日本のことを知りたい人が想像よりたくさんいたこと、若狭塗箸のことをお客さんに伝えきれないものどかしさ、その時すでに産地の箸づくりに危機感が訪れ始めていたことなど、若狭塗箸を取り巻く環境の矛盾点・問題点が非常に多いことに気付き、それらに向き合い自分なりに解決すべく、日本に帰国後2005年にスタイル・オブ・ジャパン株式会社を設立しました。

実際に帰国してみると、日本国内ですら伝統工芸は全般的に興味や関心が低く、人気がない。また、輪島塗と混同されるなど、若狭塗自体に

箸を通じて日本文化を発信する

施策紹介

★首都圏への販路開拓に活用できる県の支援事業 ●首都圏アンテナショップとは

福井県では、首都圏における販路開拓や商品情報の発信などを支援するために、東京都内に福井県のアンテナショップを設置しています。

具体的には、港区南青山に「ふくい南青山291」を開設し、各種食品や伝統工芸品、めがねなどの地場産業製品を販売しているほか、中央区銀座の「食の國福井館」では、福井の地域資源等を活用した各種食品等を販売しています。

詳しくは、ホームページ(<http://fukui.291ma.jp/>)をご参照ください。



福井県 産業労働部 産業政策課 商業・サービス業振興グループ
TEL 0776-20-0369 FAX 0776-20-0645

食品情報提供による販路拡大支援 「バイヤーのための福食市」



「バイヤーのための福食市」とは、全国の食品関係バイヤーの方々に、仕入れに役立つ福井県の地域産品情報をご提供するために開設しました。福井のこだわり食品市場をイメージしたサイトです。
(<http://buyer.fisc.jp/>) (以下、当サイトとする)

当サイトは、地域色や独自性を持つ商品をお探しの全国食品卸売業や食品バイヤーの方々に、福井県内の食品事業者が開発した加工食品や県内の農水産物などの地域産品情報をお知らせすることで、全国の食品関係バイヤーの方々と県内の食品事業者との取引マッチングをご支援します。



(公財)ふくい産業支援センター 販路・資金支援部 販路開拓営業グループ
TEL 0776-67-7407 FAX 0776-67-7419

ブランド力がないので見向きもされない。さらにはサブライチエーンが崩壊しかけていたといった伝統工芸産地そのものの問題点を目の当たりに。中でも若狭塗箸は「箸」

に特化した工芸品のため、特に問題点も多かった。そこでこの状況を何とか打破し、伝統工芸を盛り上げていくため、山積みの課題に対し、ひとつひとつ取り組むことにし



事務所にはサンプル陳列スペースが



福井杉を使った純国産の箸ブランドを展開

ました。「二代一業」という家訓を心のよりどころに、先代たちが皆それぞれ新しい事業をしてきたことも、自分の取り組みへの想いを後押ししてくれました。

日本工芸界の トップランナーと学ぶ セミナーに参加

昨年、日本の新しい工芸界を引っ張っている中川政七商店とふくい産業支援センターが手掛けるセミナーに参加して、経営とブランディングの重要性を学びました。現会長の中川氏のことは、2005年当時からすでに知っており、彼の「自社の販売力を生かして日本各地の伝統工芸を伝えていこう」という姿勢を尊敬しつつ、まずは若狭塗箸が伝統工芸としてより認められるために努力をしたと、当時を振り返ります。

中川氏の提唱する「新しい伝統工芸の産地像をどう描き、実現するための役目をどう担っていくか」という考えにも共感し、実践していきたいと思っていると大森氏。それにふさわしいブランドを目指すために、セミナー受講は有意

義であったと振り返ります。外国人デザイナーと協働する新ブランドを、日本国内向けにアレンジしたプランとして検討しセミナーでプレゼンをした結果、成績優秀者に選ばれ大いに励みになったとい

世界最大の展示会にも 果敢にチャレンジ

「アンビエンテ2019」は、ドイツのフランクフルトで開催される数千のブランド・十数万の来場者が集まる世界最大級の国際展示会。世界中から多くのメーカーやバイヤーが集結します。

もともと日本国内の展示会だけでなく、「アンビエンテ2019」など海外展示会に出展すべく、準備してきた同社。前年度(2018年度)の出展時では、多くのインポートを得ることができ、2019年度につながりました。今年インポートのほかにアウトプットにも力を入れ、新ブランドの成果や自社の理念と昨年度の出展の経験・収穫もあって、審査員投票1位を獲得することもできました。

これからの展示会像

展示会には、販路開拓はもちろんです。自分たちの立ち位置を再確認して、ブランディングを行うため、そしてデザインセンスを磨くために出展。なんでもかんでも出展しているわけではなく、出展する意義を十分に考えて出展することが大切と考える大森氏。展示会という場は、「学びと気づきの場」であり、「良質なインポートと、アウトプットを行える場」であると語ります。

その年のトレンドや、変わらぬ価値を具現化した商品が集う展示会場に、感度の優れたバイヤーが来場し、商品に対して色々な角度から細かい質問をしてくることも多く、多くの学びや刺激を与えてくれると振り返ります。これからの展示会像は、常にどういうお客様に伝えていきたいのかを念頭に考え、合致する内容なのか問われる時代。同社として独自の理想を描く一歩星を目指すために、規模の大小を問わず展示会という場を活用していきたいと、今後の展望を語ってくれました。



株式会社龍泉刃物

越前市池ノ上町49-1-5
代表者：増谷浩司氏
事業内容：包丁各種製造販売、カトラリー製造販売、ステーションナリー製造販売
TEL：0778-23-3552
<https://ryusen-hamono.com/>



商談もワークショップもできる空間があります。

「滞在できる刃物産地」へ二次交通の進展にも期待
4月13日のオープン以来、シェフやバーテンダーなど飲食関係者のほか、50〜60代の夫婦など一般客も多数来店するなど反応は上々で「おかげさまで当初の売り上げ目標を達成できました」とはいえ、ロケーションに関する課題もあるように、「場所柄、

組める環境づくりを」という増谷社長の想いに伴走しながら、プランを形にしていきました。
今後について尋ねたところ「滞在しながら楽しめる刃物産地づくり」という夢を語ってくれた増谷社長。「これから人との出会いを大切に、みなさんへの恩返しをしながら、次世代にしっかりバトンを渡せるよう尽くしていきたい」と締めくくってくださいました。



訪日客需要増見据え、直販店オープン

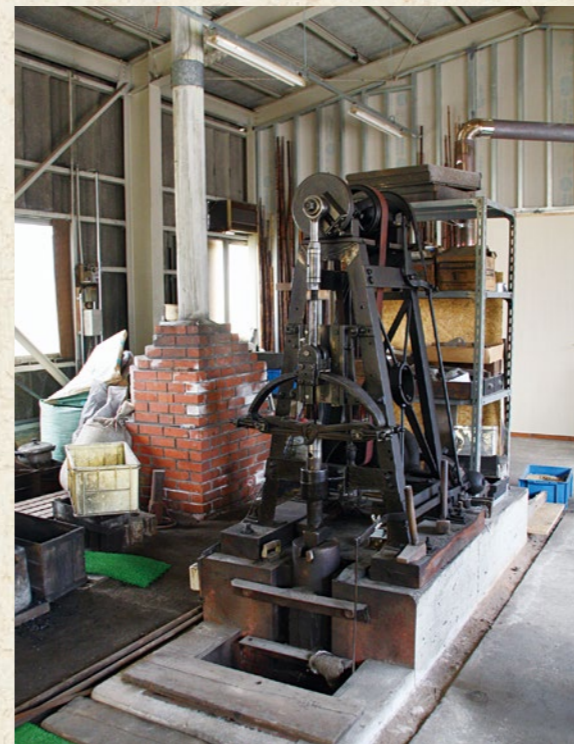
株式会社龍泉刃物

1953(昭和28)年に創業した越前市の「龍泉刃物」。同社は先ごろ、ふくい産業支援センターの助成金(ふくいの老舗企業チャレンジ応援事業)を活用し、本社近くに直販店「龍泉刃物 ファクトリー&ストア」をオープンしました。元刃物工場の物件を譲り受けてリノベーションしたという、店舗と工房の複合型直販店。オープンの経緯と今後の展開について増谷浩司社長に伺いました。

コンサル事業も活用し「もてなしの空間」を設計

増谷社長が直販店のプランを思い描きだしたのは5年ほど前。2008年の社長就任を機に強化を始めた海外事業、2013年に発表したグッドデザイン賞受賞ステークナイフ「アシンメトリーSK01」などが背景にありました。「遠方から『産地を見たい』と訪ねてくださる方が増え、職人の人柄や製造のクオリティなどを直接見てもらうことができないかと考えたのです」
加えて、「徐々に手応えを感じていた」というインパ

ンド需要も後押しとなりました。増谷社長によると「県内にある化学メーカーや電子部品メーカーにきた海外ゲストが越前打刃物を土産にするケースが増えた」とのこと。食のプロはもとより、それ以外の分野の来訪者にも満足してもらえようという「もてなしの空間づくり」がコンセプトとなりました。
プランが具体的に進みだしたのは1年ほど前。福井市内の建築事務所に店舗設計を依頼し、「包丁の金属感が伝わるようなメタル的な色味にしてほしい」などこだわりのポイントを細かく伝えていきま



50年以上生きている昔ながらの機械。

来店客のニーズに応える体験プログラム複数設定

延べ床面積は約330平方メートル。店舗には、硬度の異なる鋼を63層重ねて鍛造した「梵天雲龍」シリーズの三徳包丁、牛刀、ペティナイフなど、同社が手掛ける商品約120点が並びます。グレイ基调の店内には越前筆筒の技

術を生かした展示棚、包丁研ぎ実演や試し切りなどができるアイランド型カウンターなども設けました。福井を拠点に活動する墨絵アーティスト・西元祐貴さんの作品も掛かり、来店者の目を引きま

作り体感イベント「RENEW」へのワークショップ出展がきっかけです。お客さまが喜んでくださる姿が印象的で、単発でなく、常時お迎えられる体制を整えたいと。鍛造、焼き、研ぎ、ハンドル仕上げなど一連のステークナイフ製造工程を体験できる2日間コースのほか、包丁の仕上げ工程体験、鋸目コースター作りなどを展開します。英語で接客できるスタッフも2人配置しました。

こんにちは!
FOIPです。

新たな未来社会Society 5.0に向けて ～ 繊維と電子技術の融合「e-テキスタイル」の進展 ～

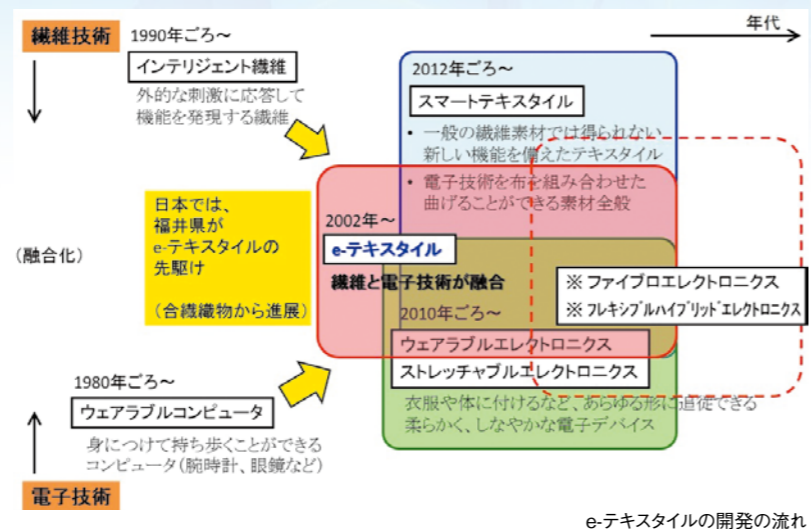
福井県工業技術センター 新産業創出研究部
e-テキスタイル研究グループ 笹山 秀樹

e-テキスタイルとは

e-テキスタイルとは、糸や布に、センサーやマイクロチップなどの「電子部品」を実装することで「電子的な機能をもたせた布」の総称です。近年、話題になっている「スマートテキスタイル」（いわゆる賢い機能をもつ布）の仲間に含まれるものです。

福井県では、全国に先駆けて2004年頃から福井県工業技術センター主体でe-テキスタイルの開発を進めており、電気を通す糸やICタグを使ったセンサテキスタイル、太陽光で発電するテント、LEDで光る布などの開発を行ってきました。近年は、国が進める

Society 5.0社会への実現に一役買おうとする取り組みも進められています。Society 5.0は、センサーとIoTを通して、現実の空間からあらゆる情報を集めてAIで解析し、その結果を付加価値の高い情報や提案に進化させるとともに、その結果を現実の空間にフィードバックすることで、よりよくしていく社会のことです。将来、ここにe-テキスタイルを活用していこうと考えています。

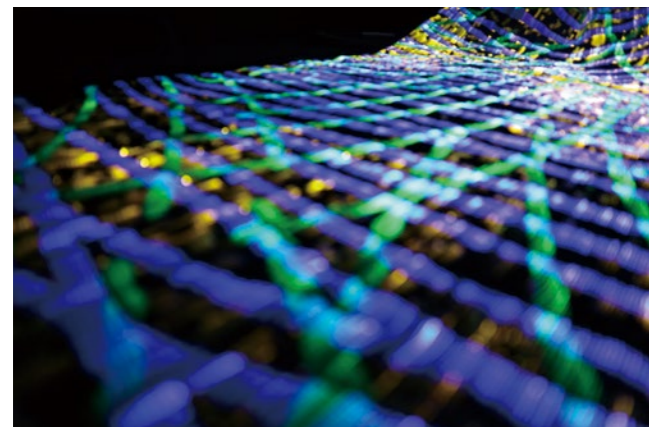


e-テキスタイルの開発の流れ

審美性と安全機能を併せもつ「発光ジャカード織物」の開発

(大喜株式会社、福井県工業技術センター) H29-R1 経産省「戦略的基盤技術高度化支援事業」

この織物は特殊な光ファイバーを使ったもので、織物の一端から光を入射すると、織物の表面全体が光ります。しかも、これは非常に高度なジャカード（柄出し）織物であり、通常の自然光の下でもジャカード独特の質感をもちながらも、入射光を多色にすることで織物表面が多色発光します。これを用いると、新たな癒しの空間を演出したり、プログラミングした光の点滅で車の自動運転をアシストするなど、織物そのものを電装化することで未来のサービスを生み出すことが可能になります。



開発した発光ジャカード織物

福井県には、特に合繊織物を製造する技術において、独自の技術をもっている企業がたくさんあります。新しい製品・サービスの提案は、とにかくアイデア勝負です。未来に向けて、共に面白いことに挑戦していきましょう！

創業者・若手経営者の挑戦

Start a New Project

(公財)ふくい産業支援センターでは『ふくい創業者育成プロジェクト』を通し、県内の創業者をさまざまな角度からサポートしています。ここでは、創業者や若手経営者の新しい視点を活かしたユニークな事業や立ち上げまでの道のりをご紹介します。

Instance 13 プリザーブドフラワーに惹かれてデザイナーの道へ 結婚式を華やかに彩るブーケをオーダーメイドで制作

きっかけは自身のウェディングブーケの手作り体験「プリザーブドフラワー」とは、本物の花を特殊な技術で加工し、まるで生花のような質感のまま、長期保存できるようにしたものです。篠崎さんとプリザーブドフラワーとの出会いは、自身のウェディングブーケの手作り体験でした。「想いを込めながらプリザーブドフラワーを美しいブーケに仕上げていく過程がとにかく楽しかったです。そして、自分で手作りしたブーケを手に持って結婚式をあげた時のなんとも言えない充実感。あの時の幸せな気持ちが今でも忘れられません。」とふり返ります。

念願だったウェディングブーケデザイナーに

篠崎さんは結婚後、旅行会社に勤務する傍ら三人の子どもを出産して忙しい毎日を送っていましたが、「私もウェディングブーケ作りを通じて幸せのお手伝いがしたい。あの時の幸せな気持ちをたくさんの人に味わってほしい。」という思いがわき上がり、2008年にFelice Rosa（フェリー

チェローザ）を立ち上げ、念願だったウェディングブーケデザイナーとしての活動を開始しました。顧客の想いを形にできるまで徹底的に寄り添ってくれるきめ細やかなカウンセリング力とデザインの提案力が口コミを呼んでお客様を着実に増やしていき、すき間時間を利用してしながらウェディングブーケ作りに没頭する日々が続きました。

お客様がもっと喜ぶ演出がしたい！

副業としての活動も10年が経過し「お客様がもっと喜ぶ演出がしたい」という気持ちが抑えられなくなった篠崎さんは、勤めていた旅行会社を退職。2018年7月に開業届を提出して、本格創業を果たしました。「創業して1年が経った今でも、いつもスタートのような新鮮な気持ちで毎日が楽しいです。」と笑顔で話す篠崎さん。福井発のウェディングブーケデザイナーとして、さらなる活躍が期待されます。



Felice Rosa
代表 篠崎真名美さん
http://felicerosa.web.fc2.com
所在地:あわら市
TEL 080-3047-3732
E-mail manami_felice@yahoo.co.jp

Instance 14 心を大切にせる業界に魅力感じ葬儀用品の問屋を創業 地域密着を強みに北陸エリアナンバーワンを目指す

自分もいつか社長ってやつをやってみよう

川端さんが創業を志したきっかけは1冊の本との出会いでした。大学卒業後にゼネコンに就職したものの、業界特有の働き方に馴染めず、今後のキャリア人生を模索していた頃、書店で偶然に藤田晋氏の著書『渋谷で働く社長の告白』を手に取り、今の自分とのギャップや数々の困難を乗り越えている経営者の力強さに衝撃を受けました。「自分もいつか社長ってやつをやってみよう」と夢を描き始めた川端さんは、2009年に勤めていた会社を退社。経営者になるためにはまずは営業力が必要と考えていた矢先、葬儀用品を扱う会社が営業職を募集していることを知り入社しました。

葬儀用品を葬儀社に卸売りする会社を創業

「葬儀社は日々消費者と心をぶつけ合うところ。だからこそ、心というものをとても大切にしています。私はそんな業界で仕事ができることに大きなやりがいを感じました。」と当時をふり返ります。「この業界で力を試したい」そう考えた川端さんは、2015年に葬儀用品を葬儀社へ卸売りする会社を創業。北陸エリア内でのネットワークの軽さや持つ情報の濃さを強みに、

式場で使う専門用品や祭壇周りのカーテン類、自宅で使う蠟燭線香や仏具、机等を顧客の要望に合わせて納品しています。

オリジナル商品の開発にも意欲

その他、ウェブサイトや折込みチラシの制作、イベント企画など葬儀社の広報活動を多角的に支援するなど、葬儀に関わる特殊な事情を理解している専門家ならではの打ち合わせのスムーズさが多忙な葬儀社経営者から好評を得て業績を伸ばし、2019年1月からはパート社員を雇用しています。「今までと同じことをしてはダメ。問屋もやりながら、今後はオリジナル商品の開発にも積極的にチャレンジしていきたいです」と意欲を語る川端さん。今後のさらなる展開に注目です。

株式会社オープンボックスジャパン
代表 川端 真人さん
所在地:福井市二の宮5-1-10
TEL 090-5317-1085
E-mail openbox.japan@gmail.com



2018年度グッドデザイン賞 / 一般社団法人 福井県眼鏡協会
めがねフェス [めがねフェス]



めがねフェスは、「めがねよ、ありがとう」を合言葉に、眼鏡産業に関わる方や眼鏡小売店の方、めがね産地である福井県鯖江市を中心とした住民の皆様、また、全国のめがね好きの皆様に向けた、めがねに感謝するためのイベントです。「めがね供養」を中心とし、めがねグッズの販売やワークショップ・めがねグルメグランプリ、めがねをかけたアーティストのステージ、ファッションショーやメガネリンピックなど、会場はめがねづくしで、全国のめがね好きが1万人以上集まるイベントとなりました。眼鏡産業にポジティブなイメージが育ち、産地に興味を持ってくださる方が増え、めがねミュージアムの来館者数も年々増えています。

【DATA】

- プロデューサー (一社) 福井県眼鏡協会 小松原一身、谷口康彦
- ディレクター 福井エフエム放送(株) 堀謙、(一社) 福井県眼鏡協会 島村泰隆
- デザイナー GOOD MORNING 三田村敦、真田悦子、清水万智
- 設置場所 めがねミュージアム・鯖江市文化センター駐車場
- 仕様 全国のめがね好き、眼鏡製造業・小売店、近隣地域住民、めがねに関わるすべての方にむけたフェスティバル

【審査委員の評価】

担当審査委員 | 岩佐十良 伊藤香織 太刀川英輔 並河進 服部滋樹

メーカーは、販売会社やお店に卸しており、ユーザーと直接顔が見える関係にはない、という例は多い。そうした課題に着目し、めがね愛好者と、ユーザーとの接点がないめがねメーカーが出会える場を楽しくつくりだしている点を評価した。



2019年度めがねフェスのメインビジュアル

話題の

新スポット巡礼

県内企業が打ち出した気になる新スポットにFACT編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

No.07



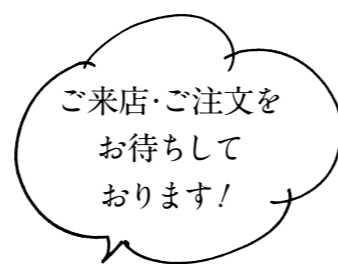
coffee shop HONANO

国際資格を2つ持つコーヒープロフェッショナルの店、鯖江市に誕生。

2019年2月1日、鯖江駅近くにコーヒー専門店を開業した店主の吉崎俊一さん。開業するきっかけは20代の頃、何気なくコーヒーを淹れたのがすべての始まり。コーヒーを淹れる楽しさ、味を追及できる奥深さに魅了され、いつしか自分で店を構えることが夢になっていました。その夢に向けコーヒーへのめり込むようになっていた吉崎さん。その熱意はついに吉崎さんを海外に導きました。海外での試験により、コーヒー豆買い付けのための最高位の資格(ブラジルコーヒー鑑定士)・コーヒーを評価するための資格(Qグレーダー)を取得し、コーヒーのプロフェッショナルの道を極めていきます。

当センターの創業支援事業も活用した店舗は、線路に面した大きな窓から通過する電車を眺めながら、1人でもゆったりできる空間を提供しています。コーヒー専門店としてコーヒーとコーヒー豆をメインに販売している同店。国際資格や海外での経験を活かし、オーダーテイストのコーヒーをブレンドできること・他店に置いていないコーヒー豆を扱っていることが強みとなっています。ほかにも、自社デザインのドリップパックやコーヒーカップ、コーヒーギフトセットなど、コーヒーに関するものを卸すこともできる。オーダーメイドでドリップパックなどを制作できるので、将来的には企業のノベルティとして使っていただくことや小売店での販売も目指していきたいという意欲を見せています。

活用事業:平成30年度創業支援事業



coffee shop HONANO

<http://www.facebook.com/coffeeHONANO>
<http://www.instagram.com/honano2019>

鯖江市舟津町1-1-12
TEL/FAX: 0778-67-3888
営業時間: 11時~22時
定休日: 金曜日

ご紹介するのはこちらの講座

無料ツールで始める 簡単ホームページ作成

募集中

～ブログ感覚でスマートフォンにも
対応したホームページを公開しよう～

日時：令和元年6月11日(火)
9:00～17:00
会場：福井県産業情報センター
(坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16)
受講料：5,700円(消費税抜き)
講師：GARAN ASSOCIATES
吉田 直哉 氏

《去年の受講者の声》

- ・知識がない私でもゆっくりとていねいに進行しながらなので分かりやすかったです。
- ・とても簡単に出来そうなのでこれまでのHP作成に比べてやる気になった。
- ・ジンドゥーとビクセラエディターの使い方がよく理解できました。

ーホームページ(以下HP)を持っていないお店もありますけど、それってもったいないですよね？

そうですね。FacebookなどのSNSのみというお店や小規模企業も多いと思いますが、HPでお店の情報をしっかり発信することはビジネス上とても重要なことです。お店や会社の信用にも繋がりますね。とはいえ、「制作業者に依頼すれば数十万円以上の出費になるな…」、「HP作りにそんなに手間をかけてもいられないし…」と、二の足を踏んでいるなんて方もいるのではないのでしょうか。

そこで、私がおすすめしているのが無料オンラインHP制作ツール「Jimdo(ジンドゥー)」です。有料版もありますが、無料版でも十分ビジネス用HPとして通用するデザインのページが作れてしまいます。

ーパソコン操作が苦手な私でも、本当に作れますか？

もちろん大丈夫です！凝ったことをしなければ初めて作る方も簡単に作れますよ。これまでのHP制作といえば、「HTML」や「CSS」といった知識しかり、やれ「ドメイン」だ、やれ「レンタルサーバー」だと小難しい設定が必要でしたが、Jimdoはインターネットに繋がる環境さえあれば、PCやスマホ

「IT」教えて先生!

～新人IT研修担当者が聞いてみました～

(公財)ふくい産業支援センターでは県内中小・個人事業者の皆さま向けに、IT研修を開催(年間約80回)しています。これから開催される注目の講座について、新人IT研修担当者が講師にお聞きしました。

店舗経営者必見! ホームページを無料で簡単に作ってみませんか？

教えてくれるのはこの人

GARAN ASSOCIATES
吉田 直哉 氏

2015年ITコンサルティングやウェブマーケティングを行うGARAN ASSOCIATES(ガラン・アソシエイツ)を設立。2016年にITコーディネーターの資格を取得。企業内で培ったIT技術・経営に関するスキルを軸に、現在は福井商工会議所の専門相談員として、県内の中小企業のIT化支援に従事。



からいつでも作成・更新ができます。また、クリックと文字入力だけで、見たまま編集できるのがJimdoの大きな特徴です。

ーなるほど、専門知識は不要なんですね! 他にもJimdoのいいところを教えてください。

それでは講座の中でもお教えする、「私が選ぶJimdo3つの便利機能」をご紹介します。

- 便利機能① マップが簡単に貼り付けられる
- 便利機能② フォームが簡単に作れる
- 便利機能③ SNSと連携できる

この3つは、どれもお店や会社のHPには欠かせないものですね。特に①②は必須といえるのではないのでしょうか。これらの機能を追加するのもJimdoのメニューボタンからいとも簡単に設定できてしまいます。

実際の講座では、こういったページ作成の基本操作はもちろん、HPで発信すべき内容や作成までの基本設定、引継ぎの仕方まで丁寧にお伝えします。まだHPをお持ちでない経営者の方にぜひご受講いただきたいと思います。一緒にHP作りに挑戦していきましょう!

お申し込み
お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター
ふるさと産業育成部 ベンチャー・Eビジネス支援グループ
TEL:0776-67-7411 E-mail:pckouza@fisc.jp
ホームページ (<http://www.fisc.jp/pckouza>) からお申し込みください

情報化人材育成事業
IT研修

相談
無料

製造現場に出向いての
無料アドバイスも好評です!

総合相談窓口に、 新たなコーディネーターが 加わりました!

生産管理、現場改善、産学官連携のことなど、
まずはお気軽にご相談ください。



高岡 勉 (タカオカ・ツトム)

中小企業診断士
福井ものづくり改善インストラクター

得意分野

- ・生産現場の導入および生産性向上、在庫管理システムの改善等
- ・産業機械の稼働率測定および生産性向上、工作機械の効率向上等
- ・加工技術の改善および研究開発等

コメント

大手機械メーカー(株クボタ)で14年、工作機械メーカー(株松浦機械製作所)で14年の勤務を通じ豊富な経験を有している現場改善の専門家です。

また、複数の大学で、産学官連携の仕事に携わってきました経験を有しており、中小企業における技術開発を目的とした大学との共同研究や技術移転のコーディネート経験も有しています。



高岡氏
プロフィール詳細



(公財)ふくい産業支援センターでは、嶺南地域の企業支援を目的として「嶺南サテライトオフィス(アクアム内(敦賀市)、TEL 0770-22-0031)」を設置し、ご相談に対応しています(相談無料)。

総合相談窓口 [相談無料・事前予約制]

毎週月曜～金曜(休日・祭日を除く) [嶺北] 9:00～17:00 / [嶺南] 9:00～12:00
TEL:0776-67-7400 FAX:0776-67-7429 E-mail:soudan-g@fisc.jp

URL: <http://www.fisc.jp/consult/sougo/>

総合相談窓口 ふくい Q 検索

※左記URLから専門家の当番予定日や予約状況が確認できます。
まずはお気軽にご連絡ください。



ふくいの逸品創造ファンド事業

県内企業が、地域資源を活用した商品開発および販路開拓の新たな取り組みについて、その費用の一部を助成します。

県内の産業が長年にわたって培ってきた技術、越前・若狭の豊かな海山の農林水産物、さらに本県の歴史や伝統、観光資源などは、福井県の特徴となる地域資源です。

こうした地域資源を活用して、創意工夫のある新商品や新サービスを開発・販売をする新たな取り組みに対して、その費用の一部を助成します。

対象者 県内に主たる事業所がある中小企業・個人事業者・農業協同組合・LLP等で、地域資源を活用して新商品の開発・販売に取り組もうとする事業者

補助率 1/2以内

補助上限額 200万円

募集期間 7月上旬～9月上旬(予定)

活用ポイント

- ◆地域資源とは、本件の特産品や伝統技法、地場産業の独自技術、自然や歴史遺産などです。
- ◆地域資源(福井の強み)を活かして、顧客ニーズをつかんだ新商品開発・販路開拓の事業に適用します。

(公財)ふくい産業支援センター 販路・資金支援部 資金支援グループ
TEL 0776-67-7406 FAX 0776-67-7419



総務部に配属されました、**龍田雅史**と申します。

担当する仕事 本情報誌F-ACTの編集・作成業務を担当しております。

仕事に対する抱負 要領よく仕事ができるよう計画を立てることを心がけていきたいです。

一言コメント お菓子が大好きで仕事机にはお菓子がたくさんストックしてあります。

販路・資金支援部に配属されました、**乾 優香**と申します。

担当する仕事 理工系大学院生向けのものづくり人材育成修学資金貸与業務を担当しています。

仕事に対する抱負 周りとの連携を取りながら、効率的に仕事を行うように心がけていきたいです。

一言コメント 趣味は睡眠と韓国ドラマ鑑賞で、韓国語を少し話せます。



人材育成部に配属されました、**上野雅仁**と申します。

担当する仕事 中小企業産業大学の施設管理業務を担当しております。

仕事に対する抱負 仕事にミスのないよう確認作業を怠らないようにしたいです。

一言コメント 見かけましたら気軽に声をかけてください!

平成最後の新入職員を紹介!

福井県信用保証協会のご案内

信用保証協会は、中小企業の皆さまが金融機関から事業資金の融資を受ける際に、「公的な保証機関」として健全な企業経営の為に効果的な資金導入のお手伝いをいたします。信用保証を通して、中小企業者の育成と地域経済の振興・発展に寄与することを目的とする「信用保証協会法」に基づく機関です。

1. 信用保証のご案内

中小企業の皆さまが金融機関から事業資金の融資を受ける際に、信用保証協会が皆さまの「公的な保証人」となることで資金調達力を高め、資金調達のお手伝いをいたします。

※ご利用には、所定の信用保証料が必要となります。

2. 信用保証の対象者

以下の①～③の**全て**に該当する方

- ①中小企業者である方
- ②個人の場合……住居または事業所のいずれかが福井県内にある方
法人の場合……福井県内に本店または事業所を有する方
- ③許認可が必要な業種の場合には、その許認可を受けている方

3. 信用保証利用の流れ

保証申込(融資依頼)	保証(融資)の申込を受け付けます。 金融機関または信用保証協会の窓口へご相談ください。
信用調査	信用保証協会は、企業の事業内容や経営計画等を審査し、保証の諾否を決定します。
保証承諾	信用調査の結果、保証の諾否を金融機関にご案内します。信用保証を承諾する場合は、金融機関に信用保証書を発行します。
融資実行	信用保証書の交付を受けた金融機関が資金をご融資します。 この際、金利とは別に定められた「信用保証料」をご負担いただきます。
ご返済	返済条件に基づき、金融機関に借入金をご返済いただきます。

万一、何らかの事情により中小企業者の方が借入金を返済できなくなった場合

代位弁済	信用保証協会は、中小企業者の方に代わって、金融機関に借入金の残金を弁済します。
求償債務の弁済	代位弁済後、中小企業の方と相談しながら、信用保証協会へご返済いただきます。

お問い合わせ先 福井県信用保証協会 TEL 0776-33-1800(代表) FAX 0776-33-8310

★ふくいの食品戦略的販路拡大支援★
「スーパーマーケット・トレードショー2020」
福井県ブース出展者大募集!!

現在、ふくい産業支援センターでは、県産食品の全国への販路拡大を支援するため、国内最大規模の食品展示会「第54回スーパーマーケット・トレードショー2020」に福井県ブースを設置します。福井県ブースに出展し、全国への販路拡大を目指す県内食品関連事業者を募集しています。



開催概要

会期：2020年2月12日(水)～14日(金) 10時～17時(最終日16時まで)
 会場：千葉県幕張メッセ全館(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)
 ※出展をご検討の方はふくい産業支援センターまでご相談ください。

募集締切は
6月7日(金)まで!

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 販路・資金支援部 販路開拓営業グループ
 TEL 0776-67-7407 FAX 0776-67-7419

自動車税は5月31日(金)までに納めてください!

パソコンやスマホで納付

パソコンやスマホを利用して、いつでも・どこでも納めることができます。福井県ホームページから案内に従って手続きをするだけです。



福井県 クレジット納税

検索

コンビニ等で納付

金融機関の窓口の他に、お近くのコンビニにおいて、現金で納めることができます

身体障害者手帳等をお持ちの方

所有する自動車税が減免される場合がありますので、お問合せください。



福井県 自動車税減免

検索

お問い合わせ先 福井県税事務所 0776 (21) 8274
 嶺南振興局税務部 0770 (56) 2223

本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター <http://www.fisc.jp>
 総務部 TEL 0776-67-7414/FAX 0776-67-7419/E-mail : kouhou-g@fisc.jp
 〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声を
 お聞かせください!!

「〇〇が面白かった、ためになった」、
 「△△をもう少し□□にしたらどうか」、
 「●●のテーマについて紹介して欲しい」、
 「▲▲会社がやっている■■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様の
 ご意見をお待ちしております。

編集後記

2019年令和最初のF-ACTが完成しました。本誌P20でもご紹介させていただきましたが、本号からF-ACT担当者が変わりました。今年4月入職の新人ではありますが、本誌が皆様の支援に繋がるよう、より一層精進します! よろしくお願い致します!

さて、今回の特集は「展示・商談会で販路拡大」のテーマで組ませていただきました。私が実際に取材をしてみても、展示会は販路拡大をもたらすことはもちろんですが、情報交換の場をもたらすことが分かりました。情報交換により商品プレゼン力が上がった他ブランドとの繋がりができたりと販路拡大への可能性を多岐にわたって引き出してくれると感じました。

今回取材に応じていただきました企業の皆様、お忙しい中、私の慣れない取材にお付き合いいただき、ありがとうございました。

新聞記事から集めた 県内企業の新商品・新規事業

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

■収集期間：平成31年3月1日～31年4月30日
 ■収集対象：福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞

食料品/飲料

「恐竜王国福井」を発信しようと、和洋菓子店の同社が恐竜の卵形をした洋菓子「福井恐竜グックワーズ」を発売した。愛らしいフクイラブトルなどの恐竜が表面にプリントされているほか、材料も福井らしさにこだわっている。	銘菓処笑福堂 (敦賀市)
県産品のインターネット販売を手掛ける山下商店と野村醤油が共同で、全て県産の大豆、小麦、水を使った生醤油を商品化した。生醤油は加熱処理をしていないため風味豊か。月1回ほど限定販売されている。	山下商店 (福井市) 野村醤油 (大野市)
同社は、新商品「黒龍 貴醸酒」を開発し、販売を始めた。低アルコールで果実のようなさわやかな甘み特徴。日本酒を敬遠してきた若者や女性の支持獲得につなげる。全国の黒龍酒造の特約店で販売される。	黒龍酒造 (永平寺町)

繊維/衣服

同社は、自分だけの1着を作ることができる女性向けのパーソナルオーダーブランド「ビスコテックス メイク ユアブランド」の新店舗を、百貨店の新宿高島屋 (東京) にオープンさせた。同社として6店舗目となる。	セーレン (福井市)
実践講座「Xスタジオ」を通じ、同社が従来の使い方にとられない製品を生み出すブランド「ARAKAWA LACE LAB」を立ち上げた。新しい発想を基に、ランプシェードと天蓋の2件を製品化した。	荒川レース工業 (福井市)

眼鏡

眼鏡枠企画製造の同社は、自社ブランド「ラインアートシャルマン」の誕生10周年を記念し、140個のダイヤモンドがフレームを飾るアニバーサリーモデルを発売した。全国の百貨店や取扱店でキャンペーンを展開する。	シャルマン (鯖江市)
眼鏡枠デザイン企画製造の同社は、2店舗目となる直営販売店を大阪市西区にオープンした。アート性の高い自社ブランド「FACTRY900」シリーズから約80種類400点を並べる。	青山眼鏡 (福井市)
眼鏡レンズ製造の同社は、メガネに貼って使えるルーベを商品化した。ルーベはシリコン製で簡単に取り外しできるのが特徴。眼鏡を外して老眼鏡を掛け直す手間がなくなり、手軽に遠近両用を実現できる。	ホブニック研究所 (鯖江市)
眼鏡枠企画販売の同社は、1833年創業で世界最古の眼鏡メーカー、米国のアメリカンオプティカルのフレームを複製し、発売した。現代でも広く商品化されている「サーモント」など3モデル。名称の商標も取得した。	プロスジャパン (鯖江市)

建設

総合建設業の同社は、建設業界への就職を考えている高校生向けに、建設現場で初期工事から建物が完成するまでの流れを長期間見学してもらう試みを始めた。建設業の人材確保につなげる考え。	石黒建設 (福井市)
住宅の設計施工、不動産などの同グループの新本社社屋が完成し、関係者向けの内覧会を行った。顧客に住まいの構造や性能を知ってもらうと、同社初の体感ショールーム「おうちラボ」を併設している。	エーシンググループ (福井市)

その他の製造業

工事看板や路面標識シートの製作・販売を手掛ける同社は、工事現場周辺での災害発生に備え、最寄り避難所などを案内する「災害種別避難誘導デザイン」を施した工事看板を商品化、意匠登録を取得した。	エフプリ (福井市)
アルミ折り戸大手の同社は、ビルや学校向けに西日を防ぎ室内温度の上昇を抑えるアルミ折り戸の受注を始めた。開閉が自在で、季節や時間によって太陽光の取り込み量を調整できる。	東工シャッター (鯖江市)
同社は、金属やガラスなどに濃い黒色の撥水皮膜をつくるメッキ加工技術を開発した。汚れが付着しても除去しやすく、光の反射を抑えられる。従来なかった新しいメッキ技術として、幅広く需要を探る。	清川メッキ工業 (福井市)
印鑑製造販売の同社は、眼鏡フレームの素材と産地の加工技術を生かしたゴム印「鯖江印カン」を商品化した。色鮮やかなアセテートを使い、持ち手は眼鏡形のデザインに。「ギフトにも最適」とアピールする。	小林大伸堂 (鯖江市)
農機販売・メンテナンスのヨシミ商会は、田植え後の水田を走行して除草するラジコン・ホバークラフトを発売した。除草剤散布用に開発した機体を改造し、無農薬栽培に適応させた。	ヨシミ商会 (福井市)

商業/サービス

女性衣料専門店、アクシーズファムを運営する同社は、主要店舗で会員限定の交流イベントを開き来店頻度を高める取り組みを始める。ネット店舗で買った商品を店頭で受け取る顧客を増やし、着こなしを提案する。	アイジーイー (越前市)
同社はスニーカーの洗濯サービスを始めた。日華化学 (本社福井市) が専用洗剤を開発。スニーカー市場は拡大しており、個人をはじめ、団体・法人の需要を取り込み、売上の5%まで引き上げたい考え。	黒川クリーニング社 (坂井市)
福井市内で飲食店を手掛ける同社は、西武福井店南側のアップルビル地下に、飲食店を集めた「福井駅前横丁」を開業した。小規模店舗が軒を連ねて集客する店舗形態をモデルケースと位置付けている。	ぼんた (福井市)
同社は、不要になった家具を預かって、同社の売り場で販売する事業を始めた。売却率を上げるために、販売価格を展示から1週間ごとに値下げするユニークなシステムを採用している。	山口伊三郎家具 (福井市)
三国町の旧市街地「三國湊」で、空き家になっていた「旧大木道具店」の改修が完了し、フランス料理を提供するレストラン「S'amuser」としてオープンした。三國湊の新たな観光拠点として期待される。	S'amuser (坂井市)



(株)日本政策金融公庫との
協調融資の場合、ご融資利率を

年 **0.5%**
優遇

さらに
契約締結時手数料を
無料!

スタートアップを応援します。

ふくしん 創業支援資金

ご利用いただける方	当金庫の営業地区内で新たな事業を6ヶ月以内に開始するか、または開始してから1年以内の法人または個人事業者
お使いみち	運転資金、設備資金
ご融資限度額	500万円以内 (設備資金は当該所要資金の100%まで)
ご融資期間	運転資金…7年以内 設備資金…10年以内
ご融資形式	証書貸付
ご返済方法	毎月元金均等返済または 毎月元金均等返済(元金据置2年以内)
ご融資利率	2.925% ・変動金利(当金庫新長期プライムレートに連動する即時変動金利型)ご融資利率の見直し基準日は当金庫新長期プライムレートの変更日とし、前回基準日(借入後最初の変更の場合は借入日)における基準金利と変更日の基準金利の変動幅と同じ幅でご融資利率を変動します。 ・(株)日本政策金融公庫との協調融資の場合は、年0.5%優遇いたします。

保証人	経営者以外の第三者保証人は原則として不要です。 ・法人の場合…代表取締役 ・個人事業者の場合…法定相続人又は事業後継者のいずれか1名 <small>※「経営者保証に関するガイドライン」(平成25年12月5日経営者保証に関するガイドライン研究会)に則り、誠実に対応するよう努めます。</small>
担保	原則不要です。但し、申込内容により必要となる場合があります。
手数料	・契約締結時手数料 10,000円+消費税 ・繰上完済および一部繰上返済 ……………5,000円+消費税 ・条件変更 ……………30,000円+消費税 ・(株)日本政策金融公庫との協調融資の場合は、契約締結時手数料を無料といたします。
その他	※お申込みに際しては、所定の審査をさせていただきます。結果によっては、ご希望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

令和元年5月25日現在

- ◎現在のご融資利率やご返済の試算等、詳しくは、本支店窓口までお問い合わせください。
- ◎窓口にご商品概要説明書をご用意しております。



笑顔を咲かせるチカラになりたい。
福井信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/fukushin/>

福井信金

検索